学校番号	204

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎時間の課題の取り組みについては、その都度提出し、関心や意欲を重視して評価を行う。
・発問に対する回答・グループ発表での発言など、意欲的に授業に取り組む姿勢も評価します。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．思考・判断・表現	ｃ．資料活用の技能	ｄ．知識・理解
観点の趣旨	世界史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史事象や歴史構造に問題を見い出し、それを分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりすることができる。また、それを表現することができる。	歴史的事実や歴史の構造について、自らの力で調べ、まとめることができる。真理を探究する方法を身につけている。	自ら調べた内容をもとに歴史的事実や歴史の構造について知識として身につけ、理解している。
評価方法	課題への取り組み 発言	定期考査 発表	定期考査 レポート	定期考査 小テスト
	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点に適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近世ヨーロッパの形成	1．ヨーロッパ世界の拡大 2．ルネサンス 3．宗教改革 4．ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a新航路の開拓事業や征服活動と，ルネサンスの背景と影響，宗教改革の背景と影響，ヨーロッパ諸国がたがいに独立した主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程を意欲的に学習しようとしている。 b 大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基 盤と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている資料や作品群、戦闘の図版を適切に活用している。 d 大航海時代の探検、ルネサンスの意義、宗教改革、15 から 17 世紀前半の「危機の時代」におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識や征服事業の過程とアメリカ先住民社会の変容に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・授業態度
	近世ヨーロッパ世界の展開	1．重商主義と啓蒙専制主義 2．ヨーロッパ諸国の海外進出 3．17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a アジア市場とアメリカの植民地をめぐるヨーロッパ諸国の抗争の過程と，三角貿易のもたらした国際的な社会・経済の変化や、科学革命と啓蒙思想を背景とするヨーロッパの文芸思潮について関心を持って学習しようとしている。 b17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義や 17～18 世紀におけるヨーロッパ文化の特色を考察し，文章や表にまとめる。 c 教科書に掲載されている 18 世紀半ばのヨーロッパ諸国の領域をあらわした地図や図版，王家の系図や「権利の章典」、美術作品などの資料を適切に活用している。 d17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国の動向や、近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。	
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	1．産業革命 2．アメリカ独立革命 3．フランス革命とナポレオン	○ ○ ○	○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a 産業革命の背景や、アメリカの独立、フランス革命、ナポレオンの政策に関心を持って学習しようとしている。 b ナポレオンの戦争を，国民国家の理念をヨーロッパ諸国に広げたことと関連付けて考察し，文章にまとめる。 b 資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている「独立宣言」の抜粋などの資料や「人権宣言」や革命期の絵画資料，ナポレオンの活動を表現した絵画や図版，彼の全盛期ヨーロッパ地図などを適切に活用している。 d 産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命がおこった理由や、それらが世界に与えた影響などに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・授業態度
	欧米における近代国民国家の発展	1．ウィーン体制の成立 2．ヨーロッパの再編 3．南北アメリカの発展 4．19 世紀欧米の文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○	○ ○ ○ 	aウィーン体制，社会主義思想の成立、ヨーロッパ列強の対立などについて，関心を持って学習しようとしている。また、19世紀欧米の文芸思潮の変化，近代諸科学や技術の発展の影響を意欲的に追究しようとしている。 b1848年革命やイタリア・ドイツの統一、アメリカ先住民や奴隷解放後の黒人への抑圧や近代大都市文化の成立を、社会問題などと関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されている地図や絵画・図版などを適切に活用し、その文化の特色に触れることができている。 dウィーン体制やラテンアメリカの独立の経過、南北戦争以後，世界一の工業国として発展したことに関する基本的な知識を身につけている。	

2学期	アジア諸地域の動揺	1．西アジアの変容 2．南アジア・東南アジアの植民地化 3．東アジアの激動	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a オスマン帝国、ムガル帝国についてや、アヘン・アロー両戦争、太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し，近代化への取り組みが始まったこと関心を持って学習しようとしている。 b インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由、日本の明治維新とその後のヨーロッパ文明の導入による近代化がアジア諸国に与えた影響について考察し文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている地図，図版や写真，諸資料を適切にを適切に活用している。 d ヨーロッパ諸国との関わりや、アジアの変容、日本と清朝の朝鮮をめぐる対立などに関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・授業態度
	帝国主義とアジアの民族運動	1．帝国主義と列強の展開 2．世界分割と列強対立 3．アジア諸国の改革と民族運動	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果や、さまざまな世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったこと、アジアの改革などに関心を持って学習しようとしている。 b 経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化の影響や、ナショナリズムの運動の展開などについて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている海外植民地面積の地図や比較図、図版などの諸資料を適切に活用している。 d 帝国主義の特質や植民地獲得や勢力圏拡大の競争、バルカン半島をめぐる危機の高まりや、日露戦争や韓国併合にみられる近代日本の台頭、アジアの民族運動などについて基本的な知識を身につけている。	
	二つの世界大戦	1．第一次世界大戦とロシア革命 2．ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3．アジア・アフリカ地域の民族運動 4．世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5．第二次世界大戦	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a二度の世界大戦勃発の経緯や結果、それらが与えた世界への影響について関心を持って学習しようとしている。 b社会主義国家の誕生の影響や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係について、多角的に考察し，文章にまとめる。 bファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c教科書に掲載されている世界大戦の戦場となった地域をあらわす地図，新兵器などの図版、ブロック経済の結成地図，「ゲルニカ」をはじめとする多くの写真資料などを適切に活用している。 dロシア革命の展開やヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点、ガンディーを中心としたインドの民族運動や世界恐慌の影響と欧米諸国の対応と基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・授業態度
3学期	冷戦と第三世界の独立	1．戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2．米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 b アジア諸地域で推進された民族運動と干渉国の関係や、西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響などと関連付けて考察し，文章にまとめる。 c 教科書に掲載されている地図や図版・写真を適切に活用している。 d 戦後の世界秩序の形成，ヨーロッパの東西分断と冷戦体制の確立，アジア諸地域の独立、朝鮮戦争後の「雪どけ」と平和共存に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・小テスト ・発問評価 ・授業態度